

07.3.15

330-A地区
キャビネット事務局

届出年月日	2007 年 3 月 15 日
所 属	第14R・第2Z 東京荒川LC (会員番号903229)
ふ り が な	いいだ よしひこ
L 名	飯 田 善 彦
生 年 月 日	明・大・〇昭 22 年 9 月 14 日 満 59 歳
自 宅 住 所	〒116-0003 東京都荒川区南千住5丁目21番1号 TEL 03-3801-2303 FAX 03-3806-6511
会 社 名 会 社 住 所	〒116-0003 東京福祉バス株式会社 東京都荒川区南千住5丁目21番1号 TEL 03-3806-3811 FAX 03-3806-6511
ライオン歴 (アワードもご記入ください)	別紙用紙にご記入ください。(17行以内・1行あたり35字以内 句読点含む)
職 歴 (主要なものにとどめ、現職について職務上の地位などを詳しく記入してください)	東京福祉バス株式会社 代表取締役
家 族	配偶者氏名 無 配偶者の生年月日 19 年 月 日生 (歳) ライオンズクラブのメンバーで ある ない (メンバーの場合 東京 LC 会員番号)

ライオンズクラブ国際協会330-A地区

ガバナー L 森山 勇 様
選挙管理委員会委員長 L 野崎 武 様

私儀ライオンズクラブ国際協会330-A地区2007～2008年度地区ガバナーとして立候補いたしたく、本日クラブ推薦状を添え上記のとおり届出いたします。

東京荒川ライオンズクラブ (署名)

飯田善彦





※ライオン歴(クラブの理事会構成員を務められた年度も必ずご記入ください)

ライオン暦は17行以内、1行あたり35字以内でお願い致します。なお、句読点も数字に入れて下さい。

1978 年 10月 日 (チャーターメンバーで ある ○ない)

役職名

1990 年～1991 年 ・東京荒川ライオンズクラブ会計
1992 年～1993 年 ・東京荒川ライオンズクラブ幹事
1993 年～1994 年 ・地区指導力育成委員会委員
1995 年～1996 年 ・東京荒川ライオンズクラブ第二副会長
1996 年～1997 年 ・東京荒川ライオンズクラブ第一副会長
1997 年～1998 年 ・東京荒川ライオンズクラブ会長
2000 年～2001 年 ・地区政策・会則委員会委員
2001 年～2002 年 ・地区 第7R第1Zゾーンチェアマン
2002 年～2003 年 ・地区 A-2準地区準備委員会副委員長
2002 年～2003 年 ・東京荒川ライオンズクラブ理事
2003 年～2004 年 ・複合PR・情報委員会委員
2003 年～2004 年 ・東京荒川ライオンズクラブ理事
2004 年～2005 年 ・地区社会福祉ボランティア委員会副委員長
2005 年～2006 年 ・東京荒川ライオンズクラブ理事
2006 年～2007 年 ・地区330A-地区副地区ガバナー
2006 年～2007 年 ・地区CFSⅡ特別委員会委員長

※メルビン・ジョーンズ・フェロー [○有 (3 回) ・ 無]

※アワード 2005年ガバナーズアワード個人賞

所 信 表 明 記 載 用 紙

(原則として、フォント12ポイントで2,000字以内におまとめください)

2007～2008年度地区ガバナー立候補者

東京荒川ライオンズクラブ

Ｌ 飯 田 善 彦

〔 所信表明 〕

この一年間森山ガバナー、および執行部の皆様方により、ガバナーの責務を体得する機会を与えていただきました。また、公式訪問も同行させていただき、330-A地区のメンバーにお会いし、貴重なご意見等をいただきましたこと、また元ガバナーの方々に様々な体験談等のご指導を賜り、誠に有り難うございます。

森山ガバナーは、組織改革をされましたが、私は、これを基にメンバーの『意識改革』を旨とし、掲げました公約を履行すべく、花の330-A地区を目指し、皆様の合意のもと開かれたキャビネット（情報公開）にすべく全力投球で改革致したいと思ひます。

《 奉仕から体感できる感動 》

『 奉仕活動を通して得る感動こそ会員の絆 』です。

今、奉仕活動の重要性、必要性は多くの国民の理解するところであり、身障者支援、高齢者支援、青少年問題、環境問題、大規模災害支援、薬害等々活動の対象は、際限なく求められ増幅しています。

それらの社会的要求は、多くのNGO、NPOを輩出し、それらの奉仕団体は、行政の先駆的活動をし、かつ、その隙間を埋め、新たな時代の多難な問題点を解決しようとしている今、50余年の歴史を持ち多くの足跡をのこしてきたライオンズクラブが意識と組織を再考し、メンバーの結束のもとに、奉仕団体としての範と品格を再構築することを目指したいと念願するものです。

《 目的 》 ライオンズクラブに何故入会したのかを振り返り、奉仕活動から得られる素晴らしい感動を全てのメンバーと分かち合いたい。

提案1. クラブとキャビネットとの距離の短縮を実現させたい。

相互通信等を可能にするためのメール、ブログの立ち上げ、1メンバーとガバナー間で、直接意見交換ができる制度の創設。
(全てのクラブにホームページの開設)

提案2. 全クラブの奉仕活動状況の集約(アクティビティデータブックの作成)

全てのクラブが行っている奉仕活動をまとめたデータブックを作成し、自クラブの奉仕活動の参考となる資料とし、かつ、330-A地区内の奉仕活動を社会的ニーズに対応させる。

提案3. NGO、NPO、友好奉仕団体との協調をはかる。

市民の大部分の人がボランティア志向をもっている現在、都内はじめ各地にある多くの友好奉仕団体等と情報交換をおこない、大規模災害や社会問題、環境問題について協調し、奉仕活動をより効果的ものとする。

提案4. 会長、第一副会長セミナーの実施

講師、専門家を招き、年に数回、会長及び第一副会長セミナー（勉強会）を開催し、ライオンズが抱える問題点と目標を明確にし、クラブの活動の発展を図る。

提案5. 奉仕から得る感動を実現する

与える感動から、得る感動へ、全てのメンバーが参加できる感動を分かち合えるアクティビティを提案します。

以上、会員の皆様のご理解とご協力をお願いし、私の所信表明とさせていただきます。

推 薦 状

2007-2008年度330-A地区ガバナー候補者として、理事会および例会での承認を得て

当クラブ所属会員 L 飯田 善彦 を推薦します。

2007年 3月 15日

第 14 R ・ 第 2 Z

東京荒川 ライオンズクラブ

会 長 (自署) 栗 林 正 次 

幹 事 (自署) 酒 井 一 

会 計 (自署) 小 幡 陽 子 



2007年2月22日

ライオンズクラブ国際協会330-A地区

次期副地区ガバナー立候補者各位

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区選挙管理委員会
委員長 L 野崎 武

「330-A地区副地区ガバナー選挙に関する規定」の第7条に基づき選挙責任者を下記用紙にて届出をお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
選挙管理委員会委員長 L 野崎 武 様

2007年 3 月 15 日

2007-2008年度副地区ガバナー立候補者

L 石井 征二 (東京 八王子陵東 LC)

選挙責任者の氏名届出

L 亀田 宇三郎 (所属クラブ 東京 日野 LC)



330-A地区・副地区ガバナー立候補届出書

届出年月日	2007年 3月 5日
所 属	第18R・第2Z 東京 八王子陵東LC (会員番号799796)
ふ り が な	いしい せいじ
L 名	石井 征二
生 年 月 日	明・大・ <u>昭</u> 17年 4月 5日 満64歳
自 宅 住 所	〒 193-0814 東京都八王子市泉町1911-54 TEL 042 (626) 0532
会 社 名 会 社 住 所	株式会社 シルバービレッジ 〒 191-0012 東京都日野市日野1458 TEL 042 (589) 1313 FAX 042 (589) 1311
ライオン歴 (アワードもご記入ください)	別紙用紙にご記入ください。(17行以内・1行あたり35字以内 句読点含む)
職 歴 (主要なものにとどめ、現職について職務上の地位などを詳しく記入してください)	1965年：医療法人社団協和病院入職 1972年：医療法人社団西八王子病院入職 1980年：医療法人社団梅園病院入職 1986年：株式会社シルバービレッジ設立 代表取締役社長に就任
家 族	配偶者氏名 石井 宏子 配偶者の生年月日 1943年 4月29日生 (63歳) ライオンズクラブのメンバーで ある <u>ない</u> (メンバーの場合 東京 _____ LC 会員番号 _____)
ライオンズクラブ国際協会330-A地区 ガバナー L森山 勇 様 選挙管理委員会委員長 L野崎 武 様 私儀ライオンズクラブ国際協会330-A地区2007～2008年度副地区ガバナーとして立候補いたしたく、本日クラブ推薦状を添え上記のとおり届出いたします。 東京 八王子陵東 ライオンズクラブ (署名) 石井 征二 	



※ライオン歴（クラブの理事会構成員を務められた年度も必ずご記入ください）

ライオン暦は17行以内、1行あたり35字以内でお願い致します。なお、句読点も字数に入れて下さい。

1993年11月（チャーターメンバーで ある ない）

1993年11月3日 ・東京八王子LC入会

1994年～1995年 ・クラブ理事

1995年～1996年 ・クラブ理事

1996年～1997年 ・東京八王子LC幹事

1997年～1998年 ・330-A地区青少年指導委員会委員 ・クラブ理事

1998年～1999年 ・330-A地区高齢者問題特別委員会委員 ・クラブ理事

1999年～2000年 ・330-A地区大会参加委員会特別実行委員 ・クラブ理事

1999年9月3日 ・東京八王子陵東LCを結成転籍（チャーターメンバー）
・クラブ理事

2000年～2001年 ・東京八王子陵東LC会長

2001年～2002年 ・330-A地区第14R第1Z ゾーンチェアマン
・クラブ理事

2002年～2003年 ・330-A地区第18Rリジョンチェアマン
・クラブ理事

2003年～2004年 ・330-A地区キャビネット副幹事 ・クラブ理事

2004年～2005年 ・330-A地区社会福祉・ボランティア委員会委員長
・クラブ理事

2005年～2006年 ・クラブ理事

2006年～2007年 ・クラブ理事

※メルビン・ジョーンズ・フェロー〔有（2回）・無〕

※アワード

2001年～2002年 国際会長優秀賞受賞

2005年～2006年 国際会長リーダーシップ優秀賞受賞



所 信 表 明 記 載 用 紙

(原則として、フォント12ポイントで2,000字以内におまとめください)

2007～2008 年度副地区ガバナー立候補者

東 京 八王子陵東 ライオンズクラブ

L 石 井 征 二

〔 所信表明 〕

私は、330-A地区のさらなる発展を目指し、以下に記すマニフェストを掲げ

副地区ガバナーに立候補を致します。

1. 次世代へのライオニズムの継承を目指して、奉仕人口の拡大こそキャビネット最大のアクティビティであることを認識し『330-A地区メンバー10,000人プログラムの推進』の実現に向けマスコミ機関を通じてのPRにつとめ、一丸となって地区の英知を結集します。

1. 10月8日の世界ライオンズ奉仕デーを『330-A地区の奉仕の日』としてさまざまなアクティビティを展開し、ライオニズムの高揚と社会的認知度の向上を図ります。このため地区の英知を結集しアクティビティを単一クラブでしかできないもの、ゾーン・リジョン合同でした方がよいもの、地区が一丸となってすべきものに分け、10月8日に一斉にアクティビティを展開する事によってクラブ、ゾーン、地区の活性化を目指します。

1. 『地区キャビネット会議の活性化』を目指し、ITの活用による効率的な議事進行により、キャビネット会議を議論の場とし、地区の英知を結集できるようにします。



推 薦 状

2007-2008年度330-A地区副地区ガバナー候補者として、理事会および例会での承認を得て

当クラブ所属会員 L 石井 征二 を推薦します。

2007年 3 月 15 日

第 18 R ・ 第 2 Z

東京 八王子 陵東 ライオンズクラブ

会 長 (自署) 近藤 正孝

幹 事 (自署) 橋本 秀

会 計 (自署) 今井 和寛



2007年2月22日

ライオンズクラブ国際協会 330-A地区

次期副地区ガバナー立候補者各位

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区選挙管理委員会
委員長 L 野崎 武

「330-A地区副地区ガバナー選挙に関する規定」の第7条に基づき選挙責任者を下記用紙にて届出をお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会 330-A地区
選挙管理委員会委員長 L 野崎 武 様

2007年3月15日

2007-2008年度副地区ガバナー立候補者

L 河合 悦子 (東京 みやこ LC)

選挙責任者の氏名届出

L 岡田 宣弘 (所属クラブ 東京 みやこ LC)

330-A地区・副地区ガバナー立候補届出書



届出年月日	2007 年 3月 15 日
所 属	第 3R・第 2Z 東京 みやこLC (会員番号2283143)
ふ り が な	か わ い え つ こ
L 名	河 合 悦 子
生 年 月 日	明・大・昭 10 年 3 月 17 日 満 71 歳
自 宅 住 所	〒177-0051 東京都練馬区関町北 2-12-10 TEL 03-3920-8336 FAX 03-3920-4449
会 社 名	遠水サニーサイド 株式会社
会 社 住 所	〒164-0001 東京都中野区中野 6-14-7 NKビル TEL 03-5389-3232 FAX 03-5389-3259
ライオン歴 (アワードもご記入ください)	別紙用紙にご記入ください。(17行以内・1行あたり35字以内 句読点含む)
職 歴 (主要なものにとどめ、現職について職務上の地位などを詳しく記入してください)	・ 共立女子学園 中・高校にて英語教師 ・ 遠水サニーサイド 株式会社 取締役
家 族	配偶者氏名 配偶者の生年月日 19 年 月 日 生 (歳) ライオンズクラブのメンバーで ある ない (メンバーの場合 東京 L C 会員番号)
ライオンズクラブ国際協会330-A地区 ガバナー L 森山 勇 様 選挙管理委員会委員長 L 野崎 武 様 私儀ライオンズクラブ国際協会330-A地区2007～2008年度副地区ガバナーとして立候補いたしたく、本日クラブ推薦状を添え上記のとおり届出いたします。 東京 みやこ ライオンズクラブ (署名) 河合悦子 (印)	



※ライオン歴(クラブの理事会構成員を務められた年度も必ずご記入ください)

ライオン暦は17行以内、1行あたり35字以内でお願い致します。なお、句読点も字数に入れて下さい。

1984 年 3 月 日 (チャーターメンバーで ある ない)
関東ライオネスクラブ入会

役職名

1988 年～ ・ 東京櫻ライオンズクラブ 結成 CM

1992 年～1993 年 ・ 東京櫻ライオンズクラブ 第一副会長

1993 年～1994 年 ・ 東京櫻ライオンズクラブ 会長

1994 年～1995 年 ・ 330-A 1R-2Z ゾーン・チェアパーソン

1995 年～1996 年 ・ 330-A YE 委員会 副委員長

1997 年～1998 年 ・ 330-A アイヘルス委員会 委員

1998 年～1999 年 ・ 330複合地区 YE 委員会 委員

2000 年～2001 年 ・ 330-A 1R リジョン・チェアパーソン

2001 年～2002 年 ・ 東京櫻ライオンズクラブ 幹事

2002 年～2003 年 ・ 東京みやこライオンズクラブへ転籍
330-A
献腎・献眼・オープニングアイズ委員会 委員

2003 年～2004 年 ・ 東京みやこライオンズクラブ 会長

2004 年～2005 年 ・ 330-A レオ・青少年育成委員会 委員長

2005 年～2006 年 ・ 330-A YE 委員会 委員長
330複合地区 YE 委員会 委員

2006 年～2007 年 ・ 330複合地区 YE 委員会 副委員長

※メルビン・ジョーンズ・フェロー [有 (3 回) ・ 無]

※アワード

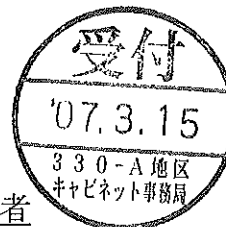
国際会長 感謝状

2004～2005年度

(クレメント クジアク会長)

2005～2006年度

(アショク メーカー会長)



東京みやこライオンズクラブ

L 河 合 悦 子

〔 所信表明 〕

この度、東京みやこライオンズクラブをはじめ、国際協会 330-A 地区における志を同じくするメンバーの方々のご支援をいただき、次期副地区ガバナーに立候補させていただくこととなりました。昨年度に続き、再度の挑戦となります。330-A 地区初の女性ガバナーとして、ライオンズクラブにかける止むことのない情熱と、高い目標をもってライオニズムの原点を純粋に追求したいと思えます。

今年度、私のテーマは「愛・創造・感動」です。人に地球に優しい愛を、一人一人の叡智の結集、そして生まれくる大きな感動を分かち合いたいと思えます。近年、奉仕活動についての認識は、日本の社会にも定着してまいりましたが、東京ライオンズクラブが 55 年周年を迎えるこの時期、日本のライオンズクラブは今一度、当初の基本精神に立ち戻る節目を迎えているように感じております。

所信を以下に述べさせていただきます。

1. 青少年健全育成

次代を担う青少年健全育成に、ライオンズクラブがいかに関わっていくべきかを考えます。

- ① 多発するいじめ、自殺問題を含め、大きな不安に揺れ動く教育問題へのライオンズクラブとしてののかかわり
- ② 薬物乱用防止活動の強力な推進
- ③ 青少年交換事業（YE プログラム）の見直しと新たな展開への模索

2. 環境問題への取り組み

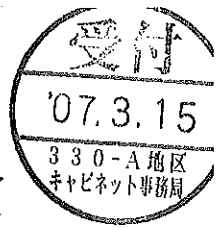
現在、地球規模で考える時期に到っている環境問題について認識を高めるセミナーの開催、植樹等すでに各クラブが実行している情報収集につとめ、330-A 地区全体の活動に繋げてまいります。330-A 地区から全日本へ、更には全世界のライオンズクラブとの連携を求めて、強く発信していきたいと考えております。

3. 女性・若手会員の増強

年会費軽減への配慮、夫々の確たる活動分野、存在感の確保により、入会への勧誘、更に会員としての定着の方策を考えます。

4. キャビネットと各クラブとの連携強化

キャビネットの情報を、文書、ホームページ、会長会の開催等、様々な手段で開示に努め、理解を深めていただく努力をいたします。



5. CSFⅡへの協力

視力ファーストは主要な国際プログラムです。第二次視力ファーストキャンペーン（CSFⅡ 2005～2008）終了後も活動の大きな柱となっていくことを考えて、協力の姿勢をとってまいりたいと思います。

6. 現キャビネット事務局の継続使用

事務局問題安定化のため、現在新宿におかれております事務局を継続使用できるよう努めます。



推 薦 状

2007-2008年度330-A地区副地区ガバナー候補者として、理事会および例会での承認を得て

当クラブ所属会員 上 河 合 悦 子 を推薦します。

2007年 3 月 15 日

第 3 R ・ 第 2 Z

東京 みやこ ライオンズクラブ

会 長 (自署) 岡田宣弘 

幹 事 (自署) 石井克夫 

会 計 (自署) 河合悦子 

(2006—2007 年度)

第 7 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録

◎ 日 時: 2007 年 1 月 29 日(月) 13:30-17:00

◎ 会 場: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)

◎ 出席者: 330 複合地区協議会議長 中 村 保 彦
331 複合地区協議会議長 桶 谷 賢 知
332 複合地区協議会議長 杉 山 正 夫
333 複合地区協議会議長 鈴 木 正 二
334 複合地区協議会議長 高 田 順 一
335 複合地区協議会議長 高 橋 祥 治
336 複合地区協議会議長 永 井 義 夫
337 複合地区協議会議長 井野邊 義 一

国 際 理 事 伏 見 龍 [欠席]

国 際 理 事 山 田 實 紘 [欠席]

国 際 理 事 谷 野 徹

(委員会報告のみ同席)

ライオン誌日本語版委員長 砂 田 繁 雄

複合地区会則委員長

連絡会議世話人 西 原 透

複合地区国際大会委員長

連絡会議世話人 木 下 務

議事に先立ち、高橋世話人から挨拶あり。また、各複合地区および各地区年次大会の大会誌に 2007-2009 国際理事候補者(後藤隆一候補、重松良次候補)2 名の経歴書と写真を掲載願いたいと鈴木議長および高橋議長の連名での要請があり、2 候補者の経歴書と写真が配布された。了承。

伏見国際理事および山田国際理事は所用のため欠席された。山田国際理事からは、1 月執行委員会で話し合われたプロトコールについての書簡が配られた(別紙 1)。

◎ 議 事:

1. Faculty Development Institute(講師育成研究会)について

- (1) 2007 年 3 月 15 日(木)~18 日(日)の日程を確認した。
- (2) 研究会の場所は、テグからソウルに変更された。会場のホテルは未定。
- (3) 日本の参加候補者 10 名のリストが提出された。参加申込用紙(Travel Form)が国際本部から英文で送られてきているので、連絡事務所から各 MD 事務局を通じて参加者へ配布する。※申込用紙に必要事項を記入し、2 月 7 日(水)必着で連絡事務所に送っていただき、日本の参加者情報をまとめて国際本部へ送付する。なお、参加者は 3 月 14 日(水)ソウルに到着し、3 月 18 日(日)午後 4 時以降に現地を出発するような旅程を組んでいただく。

国際本部は研究会中の食事、宿泊(4泊)、教材を提供するが、その他の旅費は参加者の個人負担となる。

2. アルバートF. ブランデル国際第二副会長来日日程

ブランデル第二副会長来日日程の最新版(別紙 2)を確認した。ブランデル副会長の国内移動費用(新幹線、飛行機)および宿泊代はホストMDから国際本部に請求していただき、通訳費用はホストMDと参加MD内で負担していただく。国際理事が副会長に随行して国内を移動される場合のみ、国際理事の交通費を 8MDでプール負担する。了承。

3. 薬物乱用防止全国大会開催(MD330、333 提案)

MD333 鈴木議長から、開催概要とカラーのパンフレットが配られた。パンフレット 1,000 部が各地区ガバナー宛に送られるので、地区内のクラブに配布していただく。現在、全国大会実行委員会で詳細を詰めており、次回(第 8 回)議長会議に具体化されたものが報告される。

4. 2008-2010 国際理事候補者について

MD332 杉山議長とMD331 桶谷議長から候補者についての情報がもたらされた。

5. 第 51 回(2012 年)OSEALフォーラム・ビッドに関して

2012 年フォーラム開催都市については、ちょうど同年の 2012 年夏に行われる国際大会に名古屋市が正式に立候補しているため、国際大会の開催都市が決定される 2007 年 3 月のテキサス国際理事会決議を待つものとする。

フォーラム開催都市を発表するのはフォーラム規約により 3 年前(2009 年)となっているため、今年度中に結論が出なければ、次年度引き続き検討されるよう申し送ることにする。

6. 各委員会・連絡会議報告

(1) (臨時)複合地区会則委員長連絡会議

1 月 24 日に行われた臨時会議要録を基に、西原会則会議世話人から報告あり。

(a) 高橋議長世話人より会則会議に付託された福井正憲国際第二副会長推進準備委員会の内田清一委員長書簡(2006 年 12 月 25 日付)のうち、国際第二副会長候補者選挙管理委員会は、2008-2009 年度における、2008 年 8 月 10 日までにガバナー協議会議長連絡会議の決める日時・場所で開催されることが確認された。次年度へ申し送ることにする。

(b) また、4 書簡のうち前述委員会設置要望を除く 3 書簡の要望事項については、各複合地区および各地区で対応していただく。了承。

※2009-2010 国際第二副会長職に立候補される福井正憲候補の経歴書とプロフィールが、12 月 25 日付け 4 書簡と一緒に各議長に配布された。

また、1 月 24 日付け高橋議長世話人宛西原会則世話人の書簡(家族会員の負担金について)が配られた。家族会員の国際会費半額と入会費が免除されるプログラムが開始されたが、正会員の権利および特権を有する家族会員の複合地区・地区・クラブに対する負担金の額については、それぞれのしかるべき機関で決定されるべきとの見解を聞いた。

(2) 複合地区国際大会委員長連絡会議

1 月 26 日の第 4 回会議について、木下国際大会会議世話人から報告あり。

(a) シカゴ国際大会に派遣される日本の代議員情報(氏名や人数)を、クラブ→準地区→MD→MD国際大会委員長の順に集約する。目標人数は 800 名。

(b) 日本に割り当てられているシカゴ・マリオット・ホテルや大会会場のマコーミック・プレイス、シカゴ市内の移動などについて説明あり。

(c) 2007 地区ガバナーエレクト・セミナーに出席されるエレクト夫妻のために、成田・中部・関西の 3 国際空港発着のコース設定を行い、旅程および見積もりが報告された。国際本部指定の旅行業者からコースの募集案内が出されるが、当議長連絡会議としては、旅行代金を下げる努力を続けるように申し入れた。

(3) ライオン誌日本語版委員会

2006 年 12 月 25 日の第 6 回議長連絡会議でライオン誌日本語版委員会へ申し送った事項について、砂田ライオン誌日本語版委員長から説明と報告あり。

(a) 第 6 回議長連絡会議からの申し送り事項

「事後報告ではなく、『ライオン誌創刊 50 周年記念特別委員会』設置や資料準備金(1,500 万円)の取り崩しなどは事前に議長連絡会議に出して了承を得てから進めていくべきである。」

①2007 年 1 月 12 日の第 6 回ライオン誌日本語版委員会会議には、議長連絡会議からの申し送り事項を検討する時間がなかったので、議長連絡会議要録を当日の委員会に提出していない。2 月 5 日の次回(第 7 回)委員会会議で検討するので、後日審議結果を答申する。

②「創刊 50 周年記念特別委員会」設置の経緯

ライオン誌日本語版は、国際理事会およびMDガバナー協議会の指導監督の元に発行されている。前年度委員長の申し送りを受け、今年度第 1 回および第 2 回会議で特別委員会の設置を規程により決定した。※ライオン誌日本語版委員会規程およびライオン誌日本語版事務所規程は別紙 3、4 のとおり。ライオン誌日本語版委員会規程の第 5 章には、「運営および編集のため小委員会を設けることができる。」と規定されている。

③創刊 50 周年記念誌発刊の費用は、ライオン誌日本語版委員会が予算を組み、各複合地区ガバナー協議会に上げてから、支出することになっている。

(b) その他質疑応答、要望や提案事項

各議長からの質問、要望、提案:

- 特別委員会設置や別冊の発刊など重要な節目には、議長にもあらかじめ相談するようにして欲しい。
- 議長連絡会議やライオン誌およびその他の会議を一緒に行ってはどうか。
- IT委員長連絡会議のホームページとライオン誌のホームページとの連携や改善。
- ライオンズ必携(会則小冊子のこと。第46版は税・送料込みの単価150円で、地区を通じてクラブに頒布された。)の製作費用を特別負担金で作ることはできないか。

砂田ライオン誌日本語版委員長からの回答、要望、提案:

- LCIF別冊(3月号付録)は、会計顧問のアドバイスにより余剰金を充てて作っている。2007年も昨年同様に3月付録号を作ることとし、フィリピン視察のLCIFツアー(2/9～2/12)報告とCSF IIを掲載する予定である。
- ライオンズ必携の製作費用をライオン誌日本語版事務局が負担できるかどうかは、国際理事会方針に沿ったものでなくてはならず、国際本部が判断する。
- ライオン誌日本語版委員会会議には、希望される議長も出席されるようお願いする。
- 各複合地区ガバナー協議会の会議や各地区キャビネット会議でライオン誌を取り上げていただきたい。ライオン誌への関心を高めて欲しい。

7. その他

(1) 2007 地区ガバナーエレクト・セミナーのグループ・リーダーを務められる山浦晟暉元協議会議長から挨拶があり、現副地区ガバナー宛送信済み書簡(写)が配られた。

(2) LCIF視力ファースト事業諮問委員会メンバーの中島章順天堂大学名誉教授が退任されるため、後任を探していることが報告された。英語力、眼科および公衆衛生の専門家、年3回会議出席義務等の条件が厳しいので、LCIFの担当者と相談する。

9. 次回(第8回)会議

2007年3月1日(木)13:30-16:30、日本ライオンズ連絡事務所で会議を行う。会議には、薬物乱用防止全国大会実行委員会関係者がオブザーバーとして出席する。

EXECUTIVE OFFICERS
Fiscal Year 2006-2007

INTERNATIONAL PRESIDENT

JIMMY M. ROSS
PO Box 368
Quitacoe, Texas 79255, USA

IMMEDIATE PAST PRESIDENT

DR. ASHOK MEHTA
95 K Bhulabhai Road
Kharau Mansion, Corner Park
Mumbai 400 036, India

FIRST VICE PRESIDENT

MAHENDRA AMARASURIYA
No 70, Fife Road
Colombo 6, Republic of Sri Lanka

SECOND VICE PRESIDENT

ALBERT F. BRANDEL
14 Herolds Circle
Melville, New York 11747-4247, USA

DIRECTORS

ROY BARNETTE
Columbia, South Carolina, USA

ROBERT J. EICHORN
Metairie, Louisiana, USA

CLAUS A. FABER
Oberndorf-Lindenhof, Germany

H. DAVID FIAMOT
Fl. Wayne, Indiana, USA

RYU FUSHIMI
Yokohama Kanagawa, Japan

TERRY GRAHAM
Newcastle, Ontario, Canada

LUIS GUERRERO CARRASCO
Guayaquil, Guayas, Ecuador

WAYNE HELMAN
Waukegan, Wisconsin, USA

MIKLOS HORVATH
Budapest, Hungary

SHEIKH KABIR HOSSAIN
Dhaka, Republic of Bangladesh

HOWARD A. JENKINS
Columbus, Mississippi, USA

ROBERT MOORE
Stockholm, New Jersey, USA

DR. BEVERLY A. ROBERTS
Hephzibah, Georgia, USA

MANOJ SHAH
Nairobi, Kenya, Africa

L. DOUG SIMS
Bridgewater, Massachusetts, USA

PHILIPPE SOUSTELLE
Alps Gard, France

DR. JITSUHIRO YAMADA
Minokamo Gifu, Japan

JAN-ÅKE ÅKERLUND
Hollviken, Sweden

PEDRO A. BOTELLO ORTIZ
Monterrey, Nuevo Leon, Mexico

PEI-JEN CHEN
Multiple District 300, Taiwan

SUNG-GYUN CHOI
Seoul, Republic of Korea

JOSEPH F. GAFFIGAN
Tyer Spring, Maryland, USA

WILLIAM C. HANSEN
Rochester Hills, Michigan, USA

LELAND R. KOLMEYER
Wellington, Missouri, USA

GEORGIOS J. "KOKOS" NICOLAIDES
Nicosia, Cyprus

FRANCISCO "FABRICIO" de OLIVEIRA NETO
Castelo de Rocha, PB, Brazil

K.G. RAMAKRISHNA MURTHY
Tamil Nadu, India

RUSSELL SARVER
Oxnard, Illinois, USA

KEN C. SCHWOLS
Loveland, Colorado, USA

STEVEN D. SHERER
New Philadelphia, Ohio, USA

DJOKO S. SUDEROSO
Jakarta, Indonesia

DAVID E. "DAVE" STOUFER
Washington, Iowa, USA

TORU TAMINO
Tama, Japan

FAX (630) 571-8890
TTY (630) 571-8533 (for deaf)
http://www.lionsclubs.org

The International Association of Lions Clubs

(Lions Clubs International *)

300 W 22nd Street, Oak Brook, Illinois 60523-8842, USA (630) 571-5466

DR. JITSUHIRO YAMADA
INTERNATIONAL DIRECTOR 2005-2007
2-4-18 SHIMA-CHO
MINOKAMO Gifu 505-0025
JAPAN

別紙 1

We Serve

平成 19 年 1 月 29 日

各複合ガバナー協議会議長殿

国際理事 山田 實紘

拝啓 向春の候、貴ライオンに於かれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃はライオニズムの高揚にご尽力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本日の各複合議長連絡会議には是非出席したいと思っておりましたが、どうしても都合がつかず、急ぎ書面にてご連絡させていただきます。

前回の連絡会議にて話がありました、北京・国際理事会にて改定されましたプロトコルの件です。CSFII の MD コーディネーターが各地区ガバナーの次に位置するという決議がなされ、ドイツ出身の PR 委員長、フェーバー国際理事に同決議を確認したメールを皆様にもお配りしました。

しかし本件につきましては、実際に集金する立場の各 MD コーディネーターより、改定されたプロトコルでは集金が不可能になるとのクレームがありました。テー・サップ・リー元国際会長は、3 月に行われるテキサス・サンアントニオでの国際理事会に、プロトコルを元に戻すよう提案することを約束されたようです。しかし、3 月ではすでに各キャビネットの実質上の活動は終了しており、あとは年次大会を待つのみ状況でありにも遅すぎます。

急を要する案件でありますので、私の執行委員会メンバーとしての国際理事権限で、1 月 7 日にシカゴ本部で開催されました執行委員会会議におきまして別紙のような提案書を提出しました。その結果、日本での集金が滞るようでは不都合であるため、国際会長権限で以前のプロトコルに戻すことが即座に決定されました。これによりまして、現在のプロトコルが以前のプロトコルに戻り、CSFII コーディネーターが地区ガバナーより上位に位置することになりました。

以上、書面にて取り急ぎご連絡申し上げます。

敬具



Mr. Albert Brandel, 2nd Vice President
Japan Visit

別紙 2

日	曜	日	時間	予定	会場	宿泊
2月20日	火		16:20	関西空港着 (via UA885) (福井元国際理事お出迎え、京都へ)		京都ホテルオークラ
2月21日	水		14:09 16:10 17:00	JR京都駅発 (JRのぞみ22号) JR新横浜駅着 横浜観光 歓迎夕食会	横浜ロイヤルパークホテル	横浜ロイヤルパークホテル
2月22日	木		13:00~15:00	横浜でのセミナー 晩餐会	横浜ロイヤルパークホテル 横浜ロイヤルパークホテル	横浜ロイヤルパークホテル
2月23日	金		9:00 10:30 12:25	ホテル出発(羽田空港へ) 羽田空港発 (via JAL 1713) 福岡空港着 歓迎夕食会	ホテルニューオータニ博多	ホテルニューオータニ博多
2月24日	土			福岡でのセミナー 晩餐会	ホテルニューオータニ博多 ホテルニューオータニ博多	ホテルニューオータニ博多
2月25日	日		10:50 12:00 15:30~17:00 17:00~19:00	福岡空港発 (via JAL 3210) 中部セントレア空港着 名古屋でのセミナー 晩餐会	ウエスティン名古屋キャッスル ウエスティン名古屋キャッスル	ウエスティン名古屋キャッスル
2月26日	月			名古屋滞在		ウエスティン名古屋キャッスル
2月27日	火		9:00	名古屋発 釜山へ (via JAL987)		

平成19年1月26日現在

ライオン誌日本語版委員会規程

第1条 目 的

ライオン誌日本語版委員会は、国際理事会の方針ならびに全面的な統括監督および各複合地区のガバナー協議会議長の監督のもとに、ライオン誌日本語版事務所を運営して『ライオン誌』日本語版を継続的に発行し、ライオニズムの普及発展をはかることを目的とする。

第2条 業 務

『ライオン誌』日本語版の健全な運営と発行業務を行うため、委員会を毎月1回開催し、下記事項を審議する。

1. 事業計画および予算、決算に関する事項
2. 予算執行の管理および管財に関する事項
3. 毎月号の編集記事の検討、特別記事企画、取材、レイアウトに関する事項
4. 日本ライオンズの諸活動のPR情報のための資料収集、整備およびその活用に関する事項
5. 広告取り扱いに関する事項
6. 特別負担金と送料に関する事項
7. 事務職員の服務および給与に関する事項
8. その他、管理運用等運営に必要な事項

第3条 委員長

日本から選出された国際理事、各複合地区より1名の代表者をもってライオン誌日本語版委員会を組織し、同委員会は互選により委員長を選出し委員長は『ライオン誌』日本語版の発行の責任者となる。

第4条 編集長

委員会は、委員会構成員あるいは構成員以外の者から1名の『ライオン誌』日本語版編集長を任命する。ただし、編集長が委員会構成員以外の者から任命された場合は、任命と同時に委員会構成員となる。編集長は『ライオン誌』日本語版編集の責任者となる。

第5条 小委員会

委員会は、運営および編集のため小委員会を設けることができる。小委員会は委員会全体会議の提案事項を含め検討協議する。

第6条 任 期

国際理事を除く委員はその年度内とし、後任者が就任するまではその任に当たる。ただし、次のガバナー協議会が再任することを妨げない。

第7条 改 正

本規程の改正には、委員会構成員の3分の2以上の賛成および全複合地区ガバナー協議会議長の同意を必要とする。

第8条 施 行

本規程は1979年7月1日から施行する。

1998年5月21日改正。

ライオン誌日本語版事務所規程

第1条 名 称

この事務所をライオン誌日本語版事務所とする。

第2条 目 的

事務所は、『ライオン誌』日本語版の定期的発行業務を行う。

第3条 業 務

1. 『ライオン誌』日本語版を定期的に発行するため、国際協会および各複合地区、準地区との連絡に関する業務
2. 『ライオン誌』日本語版を発行するための情報の収集および管理運用に関する業務
3. 原稿、広告に関する業務
4. 印刷、発送に関する業務
5. 『ライオン誌』日本語版発行に関連する予算・決算経理に関する業務
6. その他『ライオン誌』日本語版発行に関する業務

第4条 管 理

ライオン誌日本語版事務所の運営は、ライオン誌日本語版委員会が行う。同委員会は経理規程、原稿料金表、広告料金表、就業規則、給与規程、旅費規程、慶弔規程等を定める。

第5条 人 事

1. 事務所長はライオン誌日本語版委員会が任免する。ただし、国際理事および全複合地区ガバナー協議会の同意を得なければならない。
2. ライオン誌日本語版委員会の同意を得て、その他の職員は事務所長が任免する。

第6条 経 費

『ライオン誌』日本語版の発行および事務所運営のために必要な費用は、公式雑誌購読料（国際協会会則第8条2項d）および特別負担金（複合地区会則第9条5項）を充てる。

第7条 改 正

本規程の改正には、ライオン誌日本語版委員会構成員の3分の2以上の賛成および全複合地区ガバナー協議会の同意を必要とする。

第8条 施 行

本規程は、1979年7月1日から施行する。
1998年2月10日改正。

(2006－2007 年度)

第 8 回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議要録

◎ 日 時: 2007 年 3 月 1 日(木) 13:00-17:00

◎ 会 場: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)

◎ 出席者: 330 複合地区協議会議長 中 村 保 彦
331 複合地区協議会議長 桶 谷 賢 知
332 複合地区協議会議長 杉 山 正 夫
333 複合地区協議会議長 鈴 木 正 二
334 複合地区協議会議長 高 田 順 一
335 複合地区協議会議長 高 橋 祥 治
336 複合地区協議会議長 永 井 義 夫
337 複合地区協議会議長 井野邊 義 一

国 際 理 事 伏 見 龍
国 際 理 事 山 田 實 絃 [欠席]
国 際 理 事 谷 野 徹

(議事 1 説明のみ同席)

330 複合地区元協議会議長 見 上 良 也
330 複合地区青少年育成・ライオンズクエスト
委員長 渡 辺 真 一
特定非営利活動法人 青少年支援フォーラム(JIYD)
事務局長 中 雄 政 幸

(議事 2 説明のみ同席)

薬物乱用防止全国大会
事務局長 白 土 照 男
副事務局長 阿 部 財 智
副事務局長 寺 田 義 和
財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター
企画部長 阿 部 俊 三

(議事 5 委員会報告のみ同席)

複合地区会則委員長連絡会議
世話人 西 原 透

議事に先立ち、高橋世話人から挨拶あり。

◎ 議 事:

1. ライオンズクエスト(LQ)プログラム

(1) 日本に初めて導入された 2000 年当時のパイロット事業委員長の見上MD330 元議長から、ライオンズクエスト(LQ)プログラムについての説明を聞いた。詳細はライオン誌 3 月号付録P.22 に掲載あり。

(2) LQプログラムを実行しているMD330 の渡辺委員長から、他のMDでの導入状況やプログラム改良の必要性、講師育成のワークショップ開催費用などの説明あり。

(3) LQプログラムはライオンズクラブ国際財団(LCIF)が権利を持っており、日本が導入する際のパートナーであった国際青少年育成財団(現在青少年支援フォーラムJIYD)が、国内でのLQプログラムを行っている。JIYD中雄事務局長から、LQ認定講師養成の期間や費用について詳細な説明あり。

(4) LQ上級講師は日本には一人もいないため、現在は米国から上級講師を呼び寄せ、認定講師育成のワークショップを開催している。そのため経費が掛かる。ワークショップ開催費用を削減し、LQプログラムを全国に拡大するためには、日本でLQ上級講師を育成することが重要となる。

(5) 複合地区ライオンズクエスト委員長連絡会議を開き、LQプログラムの改良や上級講師育成を検討されるよう、MD330 渡辺委員長から提案あり。具体的な要望書を出していただいた上で、引き続き検討を重ね、次年度へ申し送るものとする。

2. 薬物乱用防止全国大会開催(MD330、333 提案)

(1) 6月8日(金)に武道館で開催される全国大会のタイムスケジュール、日程・工程表、参加申込書、登録参加券(見本)、大会パンフレットが配られた。なお大会に参加する学校関係者からの要望により終了時間が早められ、登録受付は12:00ー13:00、大会式典13:00ー17:30となるとの報告あり。

(2) 国連からの来賓は、アントニオ・マリア・コスタ国連薬物犯罪オフィス事務局長兼国連ウィーン事務局長が予定されていることが、鈴木議長から報告あり。

(3) 大会式典での発表者を各MDから1名推薦してほしいとの提案に対し、時間的制約もあるので東西2名ずつにして発表時間を増やしてはどうかとの意見あり。

(4) 参加費一人5千円、ライオンズの動員数を12,200人とする各MD単位での動員数の割り振り(案)が、大会事務局から配られた。

各MD在籍会員数に応じた比率で動員数が割り出されているが、各議長から、MDの事情を考えれば、目標達成には無理があるとの指摘があった。そこで、参加費を値下げすることや来賓、参加アーティストの見直しにより、全体の予算を縮小するよう大会事務局長に、強く申し入れた。見直した最終の収支予算書を次回(第9回)議長連絡会議に提出していただく。

(5) 参加申込みは地区単位でお願いし、5月連休前までに申し込んでいただくよう案内を出すことや申込分の登録参加券は座席の色と同じものとし、参加者が武道館で迷わないよう配慮するとの説明が、大会事務局長からあり。

(6) 昨年度に引き続き、「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」に対する後援名義を内閣総理大臣、文部科学大臣、警察庁長官、厚生労働省事務次官へお願いするので高橋議長世話人の名義を借りたいとの申し出があり、了承した。

3. Faculty Development Institute(講師育成研究会)について

伏見国際理事から、日本の参加者は9名となったことが報告された。韓国ソウルで行われる講師育成研究会は3月15日(木)8:00に開始され、3月18日(日)14:00に終了することになる。研究会4日間の講義内容を一覧にした表が配られ、日程を確認した。

4. 第46回OSEALフォーラム・第1回ステアリング委員会

第46回OSEALフォーラムの第1回ステアリング委員会が、2007年4月6日(金)に韓国テグで行われる。正規ステアリング委員であるMD330 中村議長、MD331 桶谷議長、MD332 杉山議長、MD335 高橋議長が出席される。4議長の日本-韓国往復の交通費は8MDでプール負担とする。了承。

5. 各委員長連絡会議報告

(1) 西原会則委員長連絡会議世話人から、2月23日に行われた第4回会則会議の報告あり。①複合地区会則改正案、②ライオンズ必携の製作費用をライオン誌が負担することの2点に絞って、詳細な説明が加えられた。

②についての会則上の整合性などの見解を了承する。①の複合地区会則改正案のうち、第5条については伏見国際理事および各議長からそれぞれ具体的な指摘がなされた。議長を選出・選任する際の前・元地区ガバナーの範囲や準地区ローテーションなどを話し合い、西原世話人にはさらに改正案を練り直してから議長世話人宛に提出するよう申し入れた。※会議終了後、西原会則世話人から各会則委員長に連絡し、修正した複合地区会則改正案が別紙1のとおり提出された。

(2) 桜井YE委員長連絡会議世話人から3月1日付け書面で、ライオン誌日本語版2007年2月号P.24-P.27『YE、更なる発展のために』座談会の掲載内容が、335-A地区内の一部の意見を取り上げた記事となっているため、MD335内で支障をきたしている旨の申し入れあり。MDのYE委員長と相談されてから記事を編集されていれば、このように連絡会議からの申し入れはなかっただろうとの感想が、議長から出た。ライオン誌日本語版委員会へは、YE委員長連絡会議から申し入れを行うものとする。

(3) IT担当中村議長とIT委員長連絡会議の滝澤世話人および寒河江副世話人の懇談会が、2月27日に行われ、中村議長から報告あり。「ライオンズ議長連絡会議」ホームページのサーバー代や更新費用の負担についての提案がなされたが、まずは全体の費用の概算を見積もりし、日本ライオンズ連絡事務所管理委員会へ見積書を提出してもらう。

(4) シカゴ国際大会登録方法について、山田国際理事から書面で報告あり。従来大会登録はMD公認旅行業者一括またはオンライン上での申し込みとなっている。しかし日本円で大会登録料を支払う個人登録者の便宜を図るため、今回急遽、5連

式振込依頼書による日本円(ライオンズ・レート換算)で、日本事務所を通じて国際本部へ国際会費等を送金するクラブ口座での振込方法でも、個人分の大会登録料を国際本部に支払うことができるように変更された。国際大会登録用紙の提出などは自己責任で行わなければならないが、多くの会員がシカゴ国際大会に参加できるよう、複合地区国際大会委員長連絡会議から各地区へ周知する。

また、木下国際大会会議世話人から地区ガバナーエレクト・セミナー参加旅行の情報が書面で報告された。

6. 『ライオン誌日本語版委員会』について

2月7日付け砂田繁雄ライオン誌日本語版委員長から高橋議長世話人宛に書簡が送られ、2月5日の第7回ライオン誌日本語版委員会で第6回および第7回議長連絡会議において指摘、申し送りを受けた件を検討し、当日出席の国際理事およびライオン誌日本語版委員の意見を砂田委員長が集約したものを、後日書面で回答する旨の通知があった(別紙2)。通知を受けたことへの返事は別紙3のとおり。

その後、2007年2月21日付け「ライオン誌日本語版編集委員会」の砂田繁雄委員長から別紙4の書簡(4枚)が、各議長の自宅へ郵送されてきた。書簡の内容について、各議長からさまざまな意見が出された。ついては3月8日に行われる第8回ライオン誌日本語版委員会会議で、谷野国際理事より各議長の意見を伝えていただきたいのをお願いしたい旨、高橋議長世話人から発言あり。

当議長連絡会議としては、この2月21日付け砂田ライオン誌日本語版編集委員長名での書簡を正式な回答文書として受け取ってよいのかどうか不明である点や、さらに同書簡の内容では、議長連絡会議からの指摘や申し送りに対する回答にはなっておらず、不十分であると受け止めている。

7. その他

(1) 第53回複合地区大会および地区大会の開催一覧表が配られ、日程を確認した。ライオン誌日本語版事務所からウェブマガジンに年次大会開催日程を掲載したいとの依頼があったが、当議長連絡会議は日程の掲載を了承する。

(2) ロス国際会長の感謝状が、本年度は、まとまった数が日本へ送られてきていないため、各地区年次大会における表彰ができないとのクレームが出ている現況を話合った。8議長として感謝状の追加希望を、谷野国際理事からロス会長へ早急に伝えていただく。

8. 次回(第9回)会議

2007年4月9日(月) 13:30—16:30、日本ライオンズ連絡事務所で会議を行う。

複合地区会則改正(案)

(改正案)	現行
第1章 複合地区 第5条 複合地区ガバナー協議会 1. 複合地区にはガバナー協議会を設ける。その構成員は、<u>議長および複合地区内のすべての地区ガバナー</u>とする。 2. ガバナー協議会の役員は、議長、副議長、幹事および会計、並びに協議会が必要と認めたその他の者とする。 3. 協議会議長を含む、協議会の各構成員は1票を投じる権利を有する。協議会議長は1年任期を1期のみ務めるものとし、この役職を再び務めることはできない。 4. 地区ガバナー・エレクトは会合を開いて、<u>現地区ガバナーおよび前地区ガバナー</u>の中から、議長を選任または選出する。<u>国際理事会方針として、複合地区は現地区ガバナーの中から次年度の議長を選ぶよう奨励されている。</u> 5. すべての新役員は、複合地区大会終了までに、<u>地区ガバナー・エレクト</u>によって選ばれる。 6. 議長はガバナー協議会を代表し...(以下略)	
別表 1 (前略) 333 複合地区 333-A 地区 新潟県 333-B 地区 栃木県 333-C 地区 千葉県 333-D地区 群馬県 <u>333-E地区 茨城県</u>	
	(ライオンズ必携第46版 P.123-124) 1. 複合地区にはガバナー協議会を設ける。その構成員は、複合地区内のすべての地区ガバナーとする。地区ガバナー・エレクトは会合を開いて、<u>議長就任時に前・元地区ガバナーとなる者の中から</u>、議長を選任または選出する。協議会議長を含む、協議会の各構成員は1票を投じる権利を有する。協議会議長は1年任期を1期のみ務めるものとし、この役職を再び務めることはできない。 2. ガバナー協議会の役員は、議長、副議長、幹事および会計、並びに協議会が必要と認めたその他の者とする。すべての新役員は、<u>前年度の複合地区大会終了までに、協議会の選挙によって選ばれる。</u> 3. 議長はガバナー協議会を代表し...(以下略) (文言を整理し、条文を分割する。3項以下の番号を繰り下げる。) (ライオンズ必携第46版 P.143) (前略) 333 複合地区 333-A 地区 新潟県 333-B 地区 栃木、<u>茨城</u>の各県 333-C 地区 千葉県 333-D地区 群馬県 (地区分割が2006年秋季国際理事会で承認されたので、左記のとおり改正する。)

(2007年3月9日現在)

国際理事立候補者推薦手続規則改正(案)

(改正案)	現行
第2章 国際理事候補者選挙管理委員会 4.推薦要望書の提出(2)	
(2) 推薦要望書には、次の書類が含まれていなければならない。 (a) 候補者の氏名、履歴、所信 (b) <u>所属する地区および複合地区</u>年次大会の決議書 (c) クラブ会長、地区ガバナー、ガバナー協議会議長の推薦書	(ライオンズ必携第46版 P.148) (2) 推薦要望書には、次の書類が含まれていなければならない。 (a) 候補者の氏名、履歴、所信 (b) <u>複合地区および地区</u>年次大会の決議書 (c) クラブ会長、地区ガバナー、ガバナー協議会議長の推薦書 (候補者の推薦手続きの順番は、所属する準地区大会での推薦が得られた後に複合地区大会の推薦を得なければならないため、文言を正確なものとする。)

国際第2副会長立候補者推薦手続規則改正(案)

(改正案)	現行
第2章 国際第2副会長候補者選挙管理委員会 4.推薦要望書の提出(2)	
(2) 推薦要望書には、次の書類が含まれていなければならない。 (a) 候補者の氏名、履歴、所信 (b) <u>所属する地区および複合地区</u>年次大会の決議書 (c) クラブ会長、地区ガバナー、ガバナー協議会議長の推薦書	(ライオンズ必携第46版 P.153) (2) 推薦要望書には、次の書類が含まれていなければならない。 (a) 候補者の氏名、履歴、所信 (b) <u>複合地区および地区</u>年次大会の決議書 (c) クラブ会長、地区ガバナー、ガバナー協議会議長の推薦書 (候補者の推薦手続きの順番は、所属する準地区大会での推薦が得られた後に複合地区大会の推薦を得なければならないため、文言を正確なものとする。)

(2007年2月23日現在)



2007年2月7日

八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議
世話人 高橋 祥治 様

ライオン誌日本語版委員会
委員長 砂田繁雄

拝啓

『ライオン』誌日本語版の編集発行には、平素より格別なるご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて早速ですが、2月5日に開催いたしました第7回ライオン誌日本語版委員会におきまして、第6回及び第7回議長連絡会議においてご指摘、申し送りを受けた件について検討させて頂きました。詳細につきましては、当日ご出席の国際理事及び委員の皆様から出された意見を集約し、それをまとめた上で、後日、私の方から改めましてご返答させて頂きたいと存じます。

その前に当日の議事要録をまとめましたので、ご報告させて頂きます。第6回会議の議事録も、まだ各複合地区にはお送りしておりませんので、一緒にご検討頂ければ幸いです。

また、1月29日の第7回議長連絡会議に招請を受け、私の考えをご説明した折にも申し上げました交通費の件ですが、ライオン誌日本語版委員の皆様の見解を伺ったところ、やはり招請ということであれば議長連絡会議から出して頂くのが筋ではないでしょうか、とのご意見が大勢を占めました。当日、杉山議長からもとりなして頂いたように、別に事を荒立てるつもりは毛頭ありませんが、当委員会の見解としてまとめましたため、再度、検討をお願いできるでしょうか。

なお、第7回ライオン誌日本語版委員会の議事要録にも記載いたしましたが、議長連絡会議の皆様とは今後更にコミュニケーションを密にするよう努め、全複合地区共通の公式刊行物として会員の皆様の付託にこたえていく所存です。

今後とも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬具



330-337 複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

日本ライオンズ連絡事務所内 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-1-1 パレスビルディング 805

c/o Japan Lions Office Palace Building 805, 1-1-1, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0005, JAPAN

Phone: (03)3282-7551 Fax: (03)3282-7564 E-mail: jlo@jade.plala.or.jp

別紙 3

(ファクス文書)

2007 年 2 月 16 日

ライオン誌日本語版委員会

委員長 砂田 繁雄 様

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

世話人 高橋 祥治

拝復

2007 年 2 月 7 日付け書簡および第 6 回 (1 月 12 日)、第 7 回 (2 月 5 日) のライオン誌日本語版委員会会議報告書を受け取りました。

書簡によれば、当議長連絡会議からの指摘および申し送りについての委員会見解は後日ご報告いただけるとのことですが、会議報告書と 1 月 29 日の旅費を検討するようにとの要望について、回答させていただきます。

まず、第 6 回会議 (1 月 12 日)、第 7 回会議 (2 月 5 日) の議事内容はすでにライオン誌ウェブマガジンに掲載されており、議長連絡会議の加筆・修正前に掲載されているという事は私共の加筆・修正が必要なのかどうか、個人的には大変疑問に思います。ただ、第 7 回会議 (2 月 5 日) 報告書の議事 6. の ガバナー協議会議議長連絡会議からの申し送り事項の掲載内容につきましては、第 8 回議長連絡会議 (3 月 1 日) の席上で、各議長の皆様と共に加筆・修正を致したく思います。議長世話人一人での加筆・修正を私個人として行う事は、他の議長の皆様方に大変ご迷惑をお掛けする事になるかも知れませんので、ご容赦の程お願い致します。

つぎに、1 月 29 日議長連絡会議にご出席を御願い致しました件は、私共第 6 回議長連絡会議の議事要録の理解なしにライオン誌日本語版委員会が開催されていたので、私共議長連絡会議から申し入れた件に対して何等説明がなかった為、当議長連絡会議からの申し入れを無視されたものと思い、ライオン誌日本語版委員会に対し、申し訳ないが必要書類をお持ちいただきご説明に来ていただけないかと申し入れた次第です。ライオン誌日本語版委員会が議長連絡会議要録を見ておいていただければ何でもない事であったのですが、1 月 12 日のライオン誌日本語版委員会の議案や開催内容 (当日) については、当議長連絡会議としては知る由もなく、ただただ遺憾に思っ申し入れた次第です。

従いまして、当議長連絡会議と致しましては、ライオン誌日本語版委員会からご説明に来ていただくのは貴委員会の責務と思い、旅費の負担をお願いした所です。但し、上記の経緯を考慮の上、尚且つ貴委員会での旅費負担に整合性が無いものと判断される様でしたら、当方での負担を協議させていただきます。

敬具

写： 330、331、332、333、334、336、337 各複合地区ガバナー協議会議長
ライオン誌日本語版編集長、ライオン誌日本語版委員
ライオン誌日本語版事務所
(2007 年 2 月 7 日付け書簡同封)

2007年2月21日

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議
議 長 各 位

ライオン誌日本語版編集委員会
委 員 長 砂 田 繁 雄

貴会議と当委員会との円滑な協力について

このことについて、当委員会から貴会議議長各位に対する報告及び監督関係などに関し、若干の誤解等を招くに至ったやにも拝察されますので、とり急ぎ当委員会としての見解をとりまとめ、念のため下記の通り御報告申し上げます。当委員会としては国際理事会及び貴会議議長各位による適切な監督の下、より円滑な協力関係を確立し、一層充実したライオン誌日本語版の発行に邁進致したく、両者の関係を御賢察のうえ宜しく御手配の程、心からお願い申し上げる次第です。

記

1 当委員会からの「報告」と貴会議の「了承」について

(1) 当委員会は、国際理事会の全面的な総括監督と貴会議議長各位の監督の下に、ライオン誌日本語版を発行しております（複合地区会則第9条1項）。この国際理事会及び貴会議議長各位の監督を担保するため、人的組織面において、国際理事が当然に当委員会の委員となる外、貴会議構成員あるいは貴会議議長各位が任命する者をもって当委員会委員として組織されております（同会則同条2項）。更に付言すれば、国際理事は、同時に貴会議の構成員でもあります。即ち、貴会議は、少なくとも制度的には、当委員会の実態を常時把握されております。

(2) のみならず、貴会議議長各位の監督を実効あらしめるためには、当委員会の審議内容を定期的かつ一定程度具体的に貴会議に報告することが大切であると思料しております。

そのため、当委員会は、毎回委員会議事録をもれなくありのまま貴会議事務局に送付しております。

(3) 貴会議の高橋祥治議長世話人から御質問のあった「創刊50周年記念特別委員会」の設置及び同記念事業の予算措置等につきましても、以下の経緯の通りです。

① 2005年12月7日開催の委員会（荒川隆志委員長）において、経費削減努力の結果一定の収支改善が見込まれたので、読者への利益還元方策

のひとつとして新たな企画の相当性と必要性が審議されたこと

- ② 2006年1月12日開催の委員会（同委員長）において、ライオン誌特集号（別冊）の発行が決定されたこと
- ③ 同年6月7日開催の委員会（同委員長）において、50周年記念事業に伴う記念誌発行の体裁などについては、次年度で更に検討のうえ、事前に必要な取材費のみ次年度予算に計上し、その余の予算措置については、実施年度（2007－08年度）に講ずること
- ④ 同年7月28日開催の委員会（同委員長及び砂田繁雄委員長）において、各国際理事の出席及び貴会議高橋祥治議長世話人の同席の下、2006－07年度予算案と事業計画案が原案通り承認されたこと
- ⑤ 同年9月5日開催の委員会（砂田繁雄委員長）において、創刊50周年に向け、前年度提案の事業計画案を基に今後の企画内容については（その内容いかんでは貴会議の協力を得て）、更に具体案を検討していくこと
- ⑥ 同年10月12日開催の委員会（同委員長）において、創刊50周年記念事業のため特別委員会設置が決定されるとともに、その構成員として一定の具体的委嘱要請候補者案が協議されたこと
- ⑦ 同年11月9日開催の委員会（同委員長）において、特別委員会委員候補者につき一定の方々の承諾を得たこと
- ⑧ 同年12月5日開催の委員会（同委員長）において、第1回特別委員会の具体的協議結果が報告、承認されたこと

が、それぞれ各委員会議事録に明記されております。

- (4) 貴会議要録によれば、2006年11月22日開催の今年度第5回会議において、当委員会上記⑥及び⑦記載の各委員会議事録を基に報告書が配布され、ライオン誌日本語版をB5版からA4版への移行見積書（但し、その移行の決定はなされていない。）、ライオン誌委員活動費細則案の承認とともに、創刊50周年記念事業特別委員会などについての報告が了承されております。

更に、2006年12月25日開催の第6回貴会議において、上記⑧記載の委員会議事録を基に報告書が提出された外、当委員会事務所長より上記特別委員会の活動内容及び3月号での別刷りによるLCIF特集の報告がなされております。

- (5) 以上の通り、創刊50周年記念特別委員会の設置については、既に貴会議の了承を得ているところです。

また、その予算措置については、予め必要な取材費についてのみ、国際理事の出席と貴会議高橋祥治議長世話人同席の下に、当委員会で今年度予算として承認されている外は、同事業実施年度である来年度予算に計上されるも

のであり、未だ決定されているものではありません。

なお、上記特別委員会は、当然のことながら複合地区会則第9条にいう「編集委員会」ではなく、ライオン誌日本語版委員会規程第5条にいう小委員会でもなくて、当委員会の臨時の付属機関であって、「編集」に関する諮問委員会ですので、決定権を有しません。従って、同特別委員会の設置に限って言えば、直ちには、会則上当然に貴会議の承認を必要とする事項ではないと理解しております。しかし、貴会議への報告は当然に必要であり、その了承の下に活動していくことはもとよりと考えております。

- (6) 今後、貴会議とのより緊密かつ適切な協力関係の下に、更にライオン誌日本語版の一層の充実を計るうえで有効な方法として、当委員会では貴会議構成員議長の若干名の方が、当委員会の編集会議に適宜かつ随時オブザーバーとして直接同席いただければ、誠に幸いと思料します。是非、宜しく御検討下さい。

2 出版発行にかかる「監督」ということについて

- (1) まず、前記会則上、ライオン誌日本語版に関し、組織上も、権限あるいは責任上も、発行と編集とは区別されています。このことは、恐らく、発行行為の政策性と編集行為の技術性といった業務行為の内在的相違やその歴史的、社会的経緯などによるばかりでなく、出版発行という営為が、ライオンズ精神の標榜する自由と民主主義という根幹的価値に深くかかわっているからでもあらうと思われます。

ライオン誌日本語版の発行責任者は当委員会委員長であり、その編集責任者は当委員会編集長であって、その「発行」は国際理事会と貴会議議長各位の監督の下にあるというように、二重の意味で二重構造の組織と責任体制になっております。

- (2) ところで、「監督」という場合、①一般的監督と個別具体的監督、あるいは間接的監督と直接的監督、②事後的監督と事前的監督というように、その態様、内容、方法等を一応分けて理解することが、こと当委員会に関しては、会則上もまた出版という上記特殊性からも、適切かつ有益ではないかと思われれます。

即ち、会則違反やライオンズ精神など基本的価値に反するというような具体的危険があるなどの特段の事情がある場合は格別、その様な危険性が認められないのであれば、「発行」に対する「監督」は原則的・一般的態様と内容をもって、かつ事後的な方法で間接的に行われるのが望ましく、個別具体的、あるいは事前の検閲的な監督については充分抑制的に行われるべきか

と考えます。殊に、「編集」に対する「監督」は、より慎重でなければなりません。

- (3) 結局、貴会議議長各位の監督権は、最終的には当委員会委員の任免権によって担保されており、むしろ日常的にはその意思疎通の緊密性と円滑性によって、より適切な監督と協力関係が表裏一体的に実現されるものと期待されるところです。

その様に解することが最もよくライオンズ精神に合致する所以だからです。

3 「ライオンズ必携」の出版と予算措置について

貴会議より「ライオンズ必携」の製作費用を当委員会の特別負担金をもってこれに充てることができないか、との御要望がなされておりますが、この問題は以下の事情で、直ちには貴会議の御要望に沿うことは難しいのではないかと、思われます。

- ① 当委員会収入のうち特別負担金であれそれ以外の収入であれ、その予算をもって「ライオンズ必携」発行の製作費用に充当できるかということ、その発行が当委員会であれば検討可能かと考えます。但し、現状のままですと、貴会議が発行人となっている出版物について、当委員会の独自の予算を使用することは、予算の流用そのものですので、違法となると思われます。
- ② なお、当委員会は、貴会議議長各位等の監督に服しつつも、東京地方裁判所において法人格のない社団に準じて当事者適格が認められた先例（同裁判所平成10年(3)第7166号、未払広告費請求に伴う仮差押事件）がありますことを、念の為付記致します。

4 その他の要望について

規約上差支えない限度で、できる限り貴会議の御要望に沿いたく、個別具体的な協議を開始できればと思います。

但し、当委員会における決議に関しては、当委員会委員のみが決議権を有します。

(2006-2007)

第4回複合地区国際大会委員長連絡会議要録

日 時： 2007年1月26日（金）13:00-16:30

場 所： パレスビル会議室3階3A〔東京都〕

出席者：

330 複合地区国際大会委員長	見 上 良 也
331 複合地区国際大会委員長	竹 内 武 司
332 複合地区国際大会委員長	佐々木 公 穂
333 複合地区国際大会委員長	木 下 務
334 複合地区国際大会委員長	松 岡 忠 男
335 複合地区国際大会委員長	大 辻 利 弘
336 複合地区国際大会委員長	中 島 順 三
337 複合地区国際大会委員長	迫 幸 治

国 際 理 事	山 田 實 紘
国 際 理 事	谷 野 徹
議長連絡会議世話人	高 橋 祥 治

議 事：

議事に先立ち、山田、谷野両国際理事から最新の国際理事会の動向について報告があり。

第I部：

1. 第90回シカゴ国際大会【2007年7月2日(月)-6日(金)米国・シカゴ】

(1) 代議員登録と大会登録

A. 「代議員出席を促す」手段：説明会の実施

MD330 見上委員長からモデルケースとして昨年末に準地区ごとに開催した代議員出席推進説明会の報告があり。重要な情報がリジェンチュアパーソン(RCP)、ゾーンチュアパーソン(ZCP)以下に流れない感があるため、さらに「クラブ会長幹事向けの説明会」を計画し、代議員出席の重要性を直接各クラブへ伝える必要があるとの提案があり、各MDにおいてもこれを叩き台として積極的に代議員出席を推進したらどうかとの提案が出された。これを受けて各MD大会委員長は地域の実情にあった説明会を議長及びガバナーと検討の上、随時行なうことを申し合わせた。参考資料として案内文難型の配布があり。別紙1,2参照。

B. 大会登録及び代議員登録数の把握：全体の流れ

各レベルで登録者数を集計するにあたり、共通のフォーマット(書式)案を採用した。書式A、B、Cを各レベルにおいて作成し、3/16までに各地区からMDへ報告できるようにする。最終的には次回会議にて日本全体数を取りまとめる。別紙3参照。

一般参加者/代議員とも

↓

大会登録 → 地区へ氏名を報告 → 地区内分を集計 → MDへ報告 → 当会議 → 国際理事
(クラブが書式C利用) (キャビネットが書式A、B利用)

C. 代議員：予備登録の注意事項

今大会から代議員の「予備登録数」を、各地区単位でもれなく吸い上げる方式となる。

当連絡会議としてキャビネット事務局への報告期限の目標を2月末と申し合わせた。

次の通りの「予備登録手続き」を確認した。

- ① 国際本部からの「代議員資格証明書＊」が到着後、代議員となる会員の氏名および本人の署名とクラブ会長、幹事、会計のうち1名の署名を付したものを国際協会へ返送する。
それと同時に地区キャビネット事務局へ氏名を報告する。代議員交代証明書(空欄のまま)は紛失を防ぐためにキャビネット事務局へ預ける。
- ② ①で報告済みの代議員とは別の会員が交代して代議員となる場合は、クラブへ交代証明書を渡し、本人が必要事項を記入して大会に持参する

(注意事項)代議員資格証明書が新しい様式で送付されている場合は原本をコピーして使用するので、送付されてきた分には直接記入せずに必ずコピーをとってから使用する。

＊なお、代議員の割当数は会員 25 名ごとおよびその過半数ごとに、代議員1名と補欠代議員1名。ライオンズ必携 p.43-44 参照。

D. 予備登録の問題点

前回会議においても「代議員予備登録」の徹底を図ることを申し合わせたが、いくつかの問題点が指摘された。

- ・ 次期のリジェンチェアパーソン(RCP)、ゾーンチェアパーソン(ZCP)を代議員として送り込むためには次期の人事が決定するまで待つことになり、当会議で申し合わせるキャビネットあて報告締切りとタイミングが合わない。
- ・ クラブの規模や過去の大会参加の実績から「代議員を出すこと自体が非常に困難なクラブ」もある。こういったクラブへはどのように代議員出席を促したらよいかとの質問があり。当連絡会議としては、国際協会が定めているルール通りの手順で代議員登録手続きを行なうことを原則とすることを再確認した。

E. 代議員ではない一般大会登録者

代議員登録数と同様に一般参加者の大会登録状況もとりとめる。

大会登録方法は個人で LCI のオンライン登録を推奨する場合や、地区全体で取りまとめている場合等その地区または MD の大会委員会の申し合わせによってまちまちである。現地でも登録は可能であるが、なるべく事前に手続きすることを推奨する。

F. MD 公認旅行者（ツアーコーディネーター）への指導について：

大会登録と代議員登録の違いを再確認してもらった上で、シカゴ大会への日本ライオンズの取り組みを十分理解してもらおう。MD 内で作成するすべての旅行コース日程及び料金は連絡会議を通じて確認する。また MD 公認以外の他の旅行者にもそれらを周知徹底させる義務があることを認識してもらおう。

(2) ガバナーエレクト・セミナー関係：

〈GE セミナーコースの日程及び見積りの提案〉

国際協会(LCI)指定旅行代理店 JTB 関東さいたま支店の諸田氏から説明があり。LCI から日本の全地区 GE 夫妻分の航空券の発券を依頼されているが、昨年と同様にコース設定を望まれる GE のための日程と見積案の提示があり。コースには GE セミナーに精通した添乗員が付き、滞在期間中の各種お世話役として GE 夫妻が快適に過ごせるようお手伝いする役目である旨説明あり。また、GE コースは任意の参加形態ではあるが、コースとは別に個人で渡航される GE に対しても、LCI は JTB さいたま支店を通じて航空券を支給されるとの説明があった。コース日程及び見積案は議長連絡会議に報告の上、追ってGE宛に案内送付する。

(3) インターナショナル・パレード【2007年7月4日(水)09:30 開始】

パレード・ルートがまだ発表されていないため、2名の国際理事候補者が立つ MD333 と MD335 間で設営準備を行ない検討する。また、公認業者から提案された頒布品デザインの選定については委員長間で審査した結果を考慮のうえ、近日中に開催する小委員会にて2名の候補者を交えて検討する。その結果の上、頒布品案内を各地区及び複合地区あてに通知する。

(4) 日本ライオンズ代議員会・夕食会【2007年7月4日(水)19:00-21:00 ハイアット・リージェンシー・シカゴ】

パレード関連案件と同様に小委員会でも検討する。参加登録の案内は各 MD を通じて例年通り5月上旬を予定。

第Ⅱ部：(各 MD 公認旅行業者との会議)

1. 確認事項

(1) 日本に割り当てられたホテル (ハイアット・リージェンシー・シカゴ) の部屋数：

別紙4のとおりであることを確認した。追加の部屋数を希望する場合には LCI へ交渉するので、早めに連絡事務所気付けでリクエストを出す。

(2) 大会登録をする際の手数料発生に関して：

MD 公認エージェントに大会登録のみを依頼した場合の代行手数料の発生のは非について、忌憚ない意見交換を行なった。大会登録手続きを自分で行わない場合(オンライン登録やFAXで申し込む)、国際本部までの通信費、米ドル立替金、現地での登録キットの保管と受け渡しなど係る費用が生じるわけなので、手数料の発生に対しては適切であると判断しているMDが多い。MD 間で手数料の差はあるが、現地での登録キットの受け渡し方法や場所によって多少の差がある。地域性や登録人数の差異もあるので、当連絡会議としての統一した手数料の申し合わせはしないこととし、各地区またはMDで判断する。

(3) LCI 主催の本部訪問ツアー等について：

前回資料配布した LCI 訪問ツアーの申し込み方法と費用について質問があり。シカゴ大会ではグループまたは個人の場合でも、LCI 訪問の際は事前申込み制となっている。参加費が1人 USD\$19 かかるが、これはコンベンションサービスセンターから本部までの往復のバス代にとのことである。したがって本部訪問を計画するのなら、事前申込みをすることを推奨する。

(4) 各 MD の大会登録状況について：

公認ツアーコーディネーターから各MDの大会参加状況について報告してもらった。
現時点では夏の航空料金が出てないため、パンフレットに旅行代金を掲載できないという報告が多くあった。
また、出発日程が 7/2 に集中するので、多少前後してコースを組むことの是非が問われた（一例として、早めに日本を出発して他都市を観光後、シカゴ大会に参加する）。
当会議としてはコース自体にきちんと開会式や代議員投票ができる内容であれば構わないと判断した。いずれのMDにおいても大会登録の勧めを積極的にPRしているとの報告があり。

2. 次回会議

2007 年 3 月 28 日(水) 13:00-16:30 パレスビル 3 階会議室 (3-A)

前半は委員長会議、後半(15 時から)は各MD公認エージェントとの合同会議。

* なお、パレード関連と代議員夕食会設営についての小委員会を 2 月 10 日(土)12:00 から、木下世話人、大辻副世話人、国際理事候補者及びその支援委員長を交えて打ち合わせを行なう。日本ライオンズ連絡事務所にて開催。

複合地区国際大会委員長連絡会議【小委員会】

日 時： 2007 年 2 月 10 日（土）13:00—15:30

場 所： 日本ライオンズ連絡事務所〔東京都〕

出席者：

MD333 国際大会委員長 木 下 務 （世話人）
(MD333 国際理事候補者支援委員会委員長)

MD335 国際大会委員長 大 辻 利 弘（副世話人）

2007-2009 国際理事候補者

MD333 後 藤 隆 一

MD335 重 松 良 次

333-C 地区国際理事候補者支援委員会事務局長

田 口 恵 一

MD335 国際理事推進委員会

内 山 宏

議 事：

1. 第 90 回シカゴ国際大会【2007 年 7 月 2 日（月）-6 日（金）米国・シカゴ】

(1) 日本ライオンズ代議員会・夕食会

【2007 年 7 月 4 日（水）19:00-21:00 ハイアット・リージェンシー・シカゴ】

これまでの大会委員長連絡会議で申し合わされた基本事項の確認をした。名称は「日本ライオンズ夕食会」とする。参加予定人数は 1000 名、登録料は例年通りの 1 人 1 万円。形式は参加人数、会場の規模及びシカゴのコンベンション・ホテル事情を検討した結果、ブッフェ形式とすることを検討した。メニューを 4 月中旬までに決定し、追って各 MD 宛に参加案内文書を送る。設営に関する各手配（チケット、会場レイアウト等）は MD333 と MD335 間で担当する。なお、当日の式次第案とドレスコードは議長連絡会議と相談の上決定する。

(2) インターナショナル・パレード【2007 年 7 月 4 日（水）09:30 開始】

A. パレード頒布品

第 4 回会議において業者名を伏せた上で、国際大会委員長によるデザイン案投票を行った。その結果、最も多く票を得た次の頒布品が採用された。小委員会では交換ピンのサイズ調整とベスト及び帽子的のロゴマーク位置について若干の修正を求めた上で、正式採用とすることを申し合わせた。頒布方法は追って例年通りの各地区（または MD）宛に注文案内文を配布する。

☆共通頒布品☆

- | | |
|-------------|-------------|
| 〈交換ピン2ヶ1組〉 | (株)アミタ |
| 〈男性用ベスト、帽子〉 | (株)グローリーシバタ |
| 〈女性用日傘〉＊ | (株)グローリーシバタ |

＊1社からの提案のみ

パレード参加者の服装詳細：

- ・男性参加者の指定のベストの下は白のTシャツ、白系のズボン、履きなれた白系の靴（スニーカー）とする。
- ・女性参加者は自前の浴衣（色柄は自由）に下駄または草履、指定の日傘とする。

B. パレード準備

MD333 と MD335 間で準備する用品類を確認した。

パレード編成はモデル案を作成して連絡会議を通して検討してもらう。

なお、候補者支援グッズとして「うちわ」が検討されているとの説明があり。

C. その他

国際理事候補者から頒布交換ピンとは別に、シカゴ大会登録者全員に特別なピンを作成して無償配布する予定があることが伝えられた。配布方法については追って検討する。

以 上